



SEC CARBON

第102期
中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

SECカーボン株式会社

証券コード：5304

株主の皆様へ



代表取締役社長

中島 耕

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は、2021年9月30日をもちまして、第102期事業年度中間期（2021年4月1日～2021年9月30日）の決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当中間期、当社は、新型コロナウイルス感染症拡大により国内外での経済活動に大きな制約があった中、在宅勤務の実施や職場内での感染予防対策を徹底した上で、事業活動を展開してまいりました。現在はアフターコロナの経済活動正常化に向け、回復する需要に応ずるべく事業活動を本格化させており、今後におきましても、経営体質の一層の強化を図りつつ、顧客ニーズに合った製品・サービスを提供してまいります。

近年、ご承知のとおりSDGsやカーボンニュートラルに強い関心が高まり、企業における地球環境保護活動が様々な展開されるようになりました。当社においても「2050年カーボンニュートラル」への挑戦を始めたところです。今回の中間報告書では、当社の取り組みについて紹介をしております。ぜひご一読ください。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月

事業の概況 (2021年4月1日～2021年9月30日)

●当中間期の事業の概況

当中間期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、持ち直しの動きが一部で見られるものの、依然として厳しい状況は継続しました。

我が国の経済においても、設備投資、生産、輸出、企業収益等では、持ち直しの動きもありますが、個人消費では、依然として弱い動きとなっており、全般的に厳しい状況は継続しました。

このような状況下、当社グループでは、コストダウン、製品の拡販及び品質向上等経営体質の強化に取り組んでまいりました。

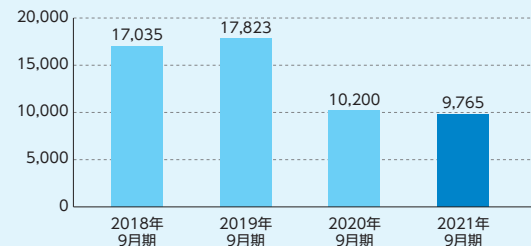
当中間期では、世界的な経済活動停滞を背景として、全般的に炭素製品市場の需要は伸び悩みました。その結果、売上高は97億6千5百万円となり、前年同期に比べて4.3%の減収となりました。

損益面に関しましては、製品原価に占める原料費の高止まりによるコストアップや全般的な製品の市況低迷により、減益となりました。その結果、営業利益は13億1百万円（前年同期比44.2%減）、経常利益は14億4千8百万円（前年同期比40.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は10億8百万円（前年同期比42.0%減）となりました。

連結財務ハイライト

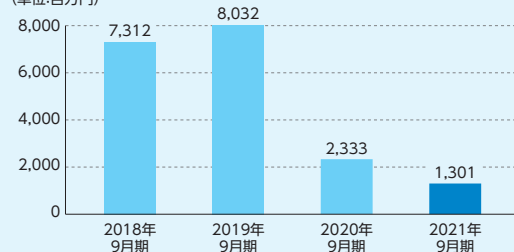
●連結売上高

(単位:百万円)



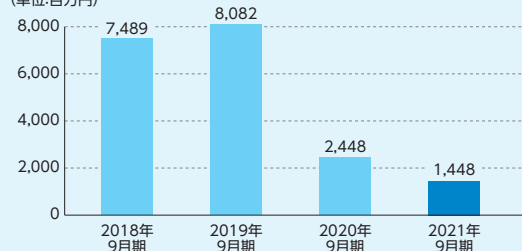
●営業利益

(単位:百万円)



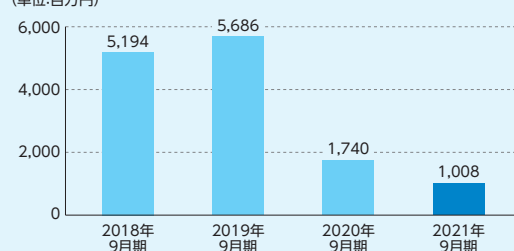
●経常利益

(単位:百万円)



●親会社株主に帰属する中間純利益

(単位:百万円)



●各製品別売上高の概況

・アルミニウム製錬用カソードブロック

LMEアルミ価格の上昇を背景に、アルミニウム製錬会社の更新需要は回復傾向となりましたが、世界的な港湾混雑、コンテナ船のスペース不足等による輸送遅延の状況が継続しており、船積みの一部が下期にずれ込んだため、販売数量が減少しました。その結果、売上高は47億3百万円となり、前年同期に比べて17.3%の減収となりました。

・人造黒鉛電極

顧客での在庫調整及び世界的な電炉市況の低迷が著しかった前年同期に比べ、人造黒鉛電極の需要は持ち直しの動きが見られ、販売数量は増加しました。その結果、売上高は33億8千万円となり、前年同期に比べて29.4%の増収となりました。

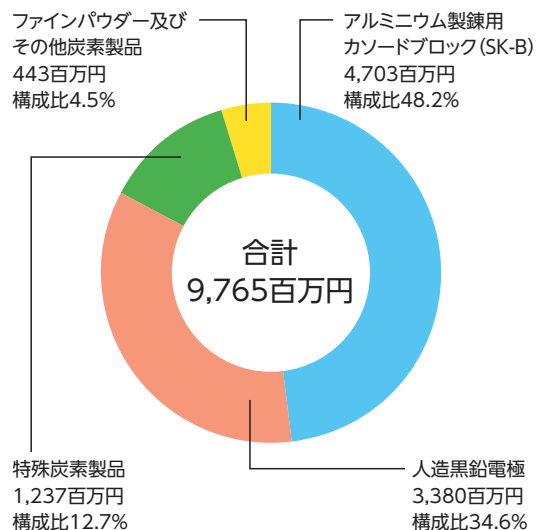
・特殊炭素製品

世界的な景気減速を背景に、一部顧客の需要回復が遅れており、販売数量が減少しました。その結果、売上高は12億3千7百万円となり、前年同期に比べて16.6%の減収となりました。

・ファインパウダー及びその他炭素製品

自動車需要の早期回復に伴い、ファインパウダーの販売数量が増加しました。その結果、売上高は4億4千3百万円となり、前年同期に比べて6.3%の増収となりました。

当中間期連結売上高構成比



●通期の見通し

通期の業績予想につきましては、経済において持ち直しの動きは見えてまいりましたが、今なお不透明な部分も多いため、2021年5月13日に公表した予想を変更しておりません。今後の業績動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、同日公表の当社グループにおける通期の業績予想は、連結売上高217億円、営業利益28億円、経常利益30億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円となっております。

配当について

● 配当方針

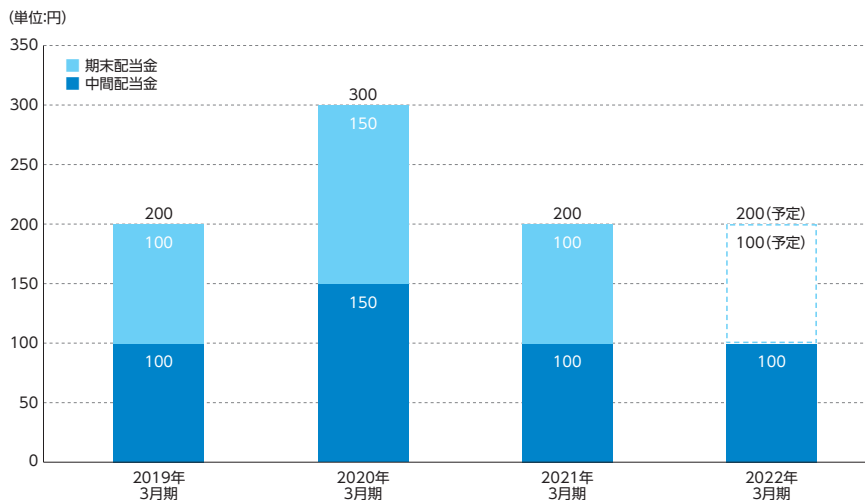
当社は、株主の皆様への永続的かつ安定的な利益還元を経営の最重要課題と考えており、剰余金の配当につきましては、各事業年度の業績を勘案し、企業体質の強化のための投資等に必要な内部留保を確保しながらできる限り安定的に実施していくことを配当の基本方針としております。

● 当期配当

配当金につきまして、株主の皆様のご支援に報いるため、上記方針に従い次のとおりとさせていただきます。なお、期末につきましては確定次第お知らせいたします。

1. 中間 1株当たり100円
2. 期末 // 100円（予定）

● 配当金の推移



2050年カーボンニュートラルへの挑戦

当社、アイエムセップ株式会社（当社会社、以下、アイエムセップ）、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）は二酸化炭素を原料とする炭素材料を非水系二次電池へ応用する研究開発に取り組んでおり、この度、10月8日に二酸化炭素を原料とする黒鉛粒子及びその製造方法等について、複数の特許出願を行いました。

1. 特許出願の概要

本技術では、二酸化炭素を原料とし、アイエムセップが基本技術を有する熔融塩電解技術を利用して炭素粒子を製造し、これを当社が適切に熱処理を施し、黒鉛粒子として提供します。この材料を産総研の協力を得ながら非水系二次電池材料に活用することで二酸化炭素を資源化することが可能になります。

2. 特許技術に関する当社の今後の取り組み

(1) 黒鉛粒子の製造

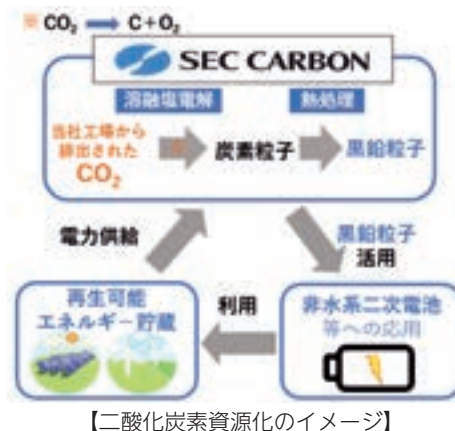
2020年代前半にベンチプラント、2020年代後半にパイロットプラントの立ち上げ、さらには量産設備の稼働につなげて、黒鉛粒子の製造・販売に取り組みます。



(2) 二酸化炭素資源化

今後は当社の京都工場、岡山工場から排出される二酸化炭素を原料とし、黒鉛粒子製造に取り組めます。将来的には、日本各地の工場から排出される二酸化炭素を対象に、今回の技術に応用すべく研究してまいります。

当社は国内外のカーボンニュートラル実現に向けた動きを見据えながら、世界から信頼され成長し続けるカーボンメーカーとして地球環境を大切にしながら社会の発展に貢献するべく、一層の省エネルギーに努めると共に、二酸化炭素の排出削減に向けた取り組みを進めてまいります。



会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	SECカーボン株式会社
設立	1934年10月23日
資本金	5,913,872,864円
発行済株式総数	4,138,868株
主要製品	アルミニウム製錬用カソードブロック (SK-B) 人造黒鉛電極 特殊炭素製品 ファインパウダー及びその他炭素製品
ホームページ	https://sec-carbon.com/

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役会長	大谷民明
代表取締役社長	中島耕
取締役	長谷川和重
取締役	田畑洋
社外取締役	大谷壽一
常勤監査役	井上雅文
常勤監査役	森下宏也
社外監査役	岡和彦
社外監査役	早崎寛

(注) 大谷壽一氏、岡和彦氏及び早崎寛氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

事業所

本社
〒661-0976
兵庫県尼崎市潮江一丁目2番6号
尼崎フロントビル6階
TEL (06) 6491-8600

東京事務所
〒103-0027
東京都中央区日本橋二丁目15番3号
平和不動産日本橋ビル7階
TEL (03) 3279-0700

名古屋営業所
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号
キリックス丸の内ビル8階
TEL (052) 231-5765

京都工場
〒620-0853
京都府福知山市長田野町三丁目26番地
TEL (0773) 27-2411

岡山工場
〒704-8147
岡山県岡山市東区正儀4700番地の2
TEL (086) 946-1500



京都工場 (福知山市)
50万㎡の敷地を有する世界トップクラスの一貫生産工場

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
単元株式数	100株		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)		
公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス https://sec-carbon.com/		
証券コード	5304		

株式に関するお問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等 になります。	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
お電話 お問合わせ先		☎ 0120-094-777 (通話料無料) (平日9:00~17:00)
各種手続き (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		インターネットホームページ https://www.tr.mufig.jp/daikou/
未払配当金のお支払		株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社